

三四八七番

梓弓あづさゆみ 末すゑに玉巻たままき かくすすそ 寝ねなななりに
し 奥おくをかぬかぬ

三四八八番

生おふ楮しもと この本山もとやまの ましばにも 告のらぬ妹いもが
名な かたに出いでむかも

三四八九番

梓弓あづさゆみ 欲良よらの山辺やまへの しげかくに 妹いもろを立たて
て さ寝処ねどほら払はらふも

三四九〇番

梓弓あづさゆみ 末すゑは寄より寝ねむ まさかこそ 人目ひとめを多おほみ
汝なを端はしに置おけれ